

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合(翻訳の遅れによる場合を含む)、英語版が優先します。

Amazon S3 Replication Time Control 機能 サービスレベルアグリーメント

最終更新:2022 年 5 月 4 日

この Amazon S3 Replication Time Control 機能サービスレベルアグリーメント(「本 SLA」)は、Amazon S3 Replication Time Control 機能(「RTC 機能」)の使用について定めたポリシーであり、アカウントごとの各リージョンペアに個別に適用される。本 SLA の契約条件と、AWS カスタマーアグリーメントまたは利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との間の他の契約(「本件契約」)の契約条件の間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本 SLA の契約条件が適用される。本 SLA において使用する用語(英文では大文字で始まるもの)のうち、本 SLA で定義されていないものは、本件契約で定められた意味を有するものとする。

機能コミットメント

AWS は、いかなる月次請求期間においても、アカウントごとの各リージョンペアについて、RTC 機能が以下に定める月間 15 分のレプリケーション率を満たすよう商業上合理的な努力を払う(「機能コミットメント」)。RTC 機能が機能コミットメントを満たさない場合、利用者は以下のとおりサービスクレジットを受け取ることができる。

サービスクレジットの額は、月間 15 分のレプリケーション率が下表に定める範囲内に低下した請求期間において、その影響を受けたオブジェクトに関連する RTC 機能の請求額(レプリケーションリクエスト、リージョン間データ転送、RTC 機能料金、送信先 S3 ストレージ料金を含む)に一定の割合を乗じて算定する。

月間 15 分のレプリケーション率	サービスクレジット率
98.0%以上、99.9%未満	10%
95.0%以上、98.0%未満	25%
95.0%未満	100%

「月間 15 分のレプリケーション率」は、レプリケーションが開始された月次請求期間において、RTC 機能によってレプリケートされたオブジェクトのうち、アカウントごとの各リージョンペアで 15 分以内にレプリケーションが正常に完了しなかったオブジェクトの割合を 100%から差し引いて算定する。

サービスクレジットは、Amazon S3 Replication Time Control 機能について今後請求される支払いに対してのみ適用できる。当社はその裁量において、Amazon S3 Replication Time Control 機能が機能コミットメントを満たさなかった請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行できる。サービスクレジットは、利用者に対し、AWS から返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレジット金額が 1 米ドル(\$1 USD)を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。AWS 契約に別段の規定がない限り、Amazon S3 Replication Time Control 機能の提供において、当社による利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合の利用

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合(翻訳の遅れによる場合を含む)、英語版が優先します。

者の唯一かつ排他的な救済は、本 SLA の契約条件に従いサービスクレジット(該当する場合)を受け取ることである。

クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、AWS サポートセンターでケースを作成することにより、請求(リクエスト)を提出する必要がある。対象となるには、インシデント発生後、2 回目の請求期間の末日までに、以下の情報を添えてクレジットのリクエストを当社に提出しなければならない。

1. 件名に「SLA Credit Request(SLA クレジットリクエスト)」という文言
2. 利用者がサービスクレジットを請求する対象の請求期間および AWS リージョン、ならびに利用者が請求するインシデントの日時
3. Amazon S3 Replication Time Control 機能が機能コミットメントを満たさなかったと主張されたインシデントを文書化した利用者のログ(これらのログ内の機密情報または機微情報は、削除するか、アスタリスクで置き換える必要がある)。

かかるクレジットリクエストの月に該当する月間 15 分のレプリケーション率を当社が確認し、適用される機能コミットメント未満であった場合、当社は、リクエストが当社により確認された月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。必要なログおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

SLA 例外事由

サービスコミットメントは、以下の場合(以下、総称して「RTC 機能 SLA 例外事由」という)、RTC 機能のいかなる利用不可状態、停止もしくは終了、またはその他のパフォーマンス上の問題にも適用されない。(i) 不可抗力事由または RTC 機能の責任分界点を超えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的支配の及ばない要因に起因する場合、(ii) 利用者の行為または不作為に起因する場合、(iii) 利用者の装置、ソフトウェアまたはその他のテクノロジーに起因する場合、(iv) 送信元または送信先の AWS リージョンにおける Amazon S3 サービスレベルアグリーメントの適用対象となる Amazon S3 のパフォーマンスに関連している場合、(v) AWS サイトで公開されている Amazon S3 開発者ガイドに記載される [Amazon S3 Replication Time Control ベストプラクティス](#)に従わなかったことに起因する場合、または、(vi) AWS 契約に基づく RTC 機能を利用する利用者の権利の停止または終了に起因する場合。当社の月間 15 分のレプリケーション率の計算に使用される要因以外の要因がサービスコミットメントに影響を与えている場合、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行できる。